

活動名：第8回福島民報杯スポ少サッカー岩根大会 U12（アーレA）

日程：令和2年9月13日（日）

会場：本宮総合運動公園

参加：6年 8名

帯同：熊坂・貝和コーチ

結果：1回戦

アーレA 6-1 岩根B

準決勝

アーレA 4-0 安積第三

決勝

アーレA 1-0 岩根A

※最終結果、優勝！

報告：熊坂

9月13日に本宮総合グラウンドで開催されました第7回福島民報杯スポ少サッカー岩根大会に参加しました。

例年は2日間開催の大会でしたがコロナの影響により12日がU8とU10、13日がU12となりました。1日での開催となりリーグ戦ではなくトーナメント戦となりました。

またU12は2チーム参加させて頂ける事になり、Aチーム(6年生)、Bチーム(L100・5+4年生)の編成とし、私はAチームを担当しました。

Aチームは6年生・8人が参加してくれました。幼い頃から入部してくれていた選手ですと2年生から出場している大会です。6年生になって迎えるこの大会への想いも特別な事でしょう。選手達にとって最後の年に最高の思い出が作れるように私も全力でサポートしたい、そんな思いで大会に臨みました。

1回戦、準決勝と結果を見ると快勝のように思えるかもしれませんがどちらも苦しい試合でした。

1回戦は2点先制するも1点返され前半を2-1で終えました。岩根さんの応援が凄く完全にアウェイといった感じでした。岩根さんが得点した時の盛り上がりもありハーフタイムに戻ってきた選手達はまるで負けているかのような顔つきをしていました。雰囲気にもまれてしまっているな、と不安を感じる程でした。

準決勝では試合開始から押し込んでいるのですが相手の体を張った守りとGKのファインセーブもあり得点を奪う事が出来ませんでした。また相手のロングボールの処理を誤ってしまいピンチを招きヒヤッとする場面もある前半となっていました。

2試合とも押し込んでいるものの前半で自分達のペースに持ち込んで試合をコントロールする事が出来ませんでした。内容自体は悪くなかったのですが今後を考えると修正していきたい課題だったと思います。

2試合とも後半も全力で戦い切ったので消耗の激しい試合となりました。
交代がないので少しでも消耗を減らしたかったのですが・・・。

決勝戦の相手は岩根Aさん。
応援が凄くアウェイのように感じるかも知れないけど雰囲気のにまれない事、相手は凄い気迫でくるからそれ以上の気迫で立ち向かう事を伝え決勝戦に臨みました。

試合開始早々に決定的な場面を作りましたがシュートはクロスバーの上を通過してしまいました。その後は相手の球際の強さ(執念)とプレッシャーの早さで中々決定機を作る事が出来ませんでした。また疲れから運動量が落ちてしまっていて相手より走れてないと感じました。
最初のビッグチャンスで決めきれなかった事が尾を引かなければいいんだけど・・・と不安がよぎりました。

前半を0-0で終え、ハーフタイムでは自分のシュートレンジでコースが空いていたら迷わず打つ事、後半15分を相手以上に走り切る事、そして何より相手以上に勝ちたい気持ちを強く持ってプレーする事、そして試合終了後に笑顔で帰ってくる事を伝えて後半に向かいました。

後半、ソウシン君の放ったシュートが相手の手にあたりPKとなりました。これをキャプテンのアキラ君が冷静に決めてくれて1点を先制しました。得点出来た事で選手達も落ち着いてペースを握れるだろうと思いました。が相手の気迫が凄く逆に押し込まれてしまいました。
疲労困憊でミスもありましたが、全員が自分のやれる事を精一杯やり、そして

仲間をカバーしあい、最後まで集中を切らさず1点を守り切ってくれました。

流れの中で得点する事が出来ずPKでの得点で少しスッキリしない部分もある事でしょう。

しかし後半の選手達はゴールへの意識の高くなり、シュートレンジになったら迷わずシュートを打ってくれました。ミスを恐れずゴールへ向かってくれました。そのゴールへの意欲がPKへと繋がったのだと思います。

そしてPKもかなりのプレッシャーを感じた事でしょう。そのプレッシャーに負けずしっかり決めたあきら君のメンタルの強さは素晴らしいものだと思います。

だから、優勝を素直に喜びましょう！

優勝おめでとうございます！！

全ての試合で全力を出し切ってくれました。

互いにカバーしあい、チームも一つにまとまってくれました。疲れていても自分達の勝利を信じて最後まで足を止める事なくやり切ってくれました。本当に素晴らしい選手達、チームです。2年生の頃の無邪気でやんちゃだった彼等からは想像出来ないくらい逞しく、そして頼もしくなってくれました。昔を思い出すと涙が出そうになるのでこれぐらいにしておきます。

歳を取ると涙腺が緩くなってしまい困ります。

この優勝を自信に、だけど今の自分に満足せずに向上心を持ち続けてこれからも頑張りましょう！

大会でいくつかの修正点もありました。

○ロングボールの処理

ロングボールがくるのが分かっている時のポジショニング。1人が競りにいった後の周りのカバーリング。浮球をダイレクトで扱う技術。

○トラップ・ファーストタッチ

この場面でしっかりトラップ出来たら、または次のプレーへ繋がるファーストタッチが出来ていたら得点が奪えたのではないかな。

○パスの精度

フリーな状態でのパスミスが少し目立ちました。狙ったところへしっかり蹴る

技術。

○ドリブルのコース

ゴールに向かって最短距離を選択する事も悪くありませんが、DFが中を固めていてサイドにスペースがあっても中央へドリブルしていた。

また利き足の方に持ち出す癖が多い。

以上が大会で私が感じた事です。

選手の皆さんも感じた事だと思います。

今後の課題として取り組んでいきましょう。

岩根SSSS様

大会開催が危ぶまれる中で熟慮に、熟慮を重ねた上で大会を開催して頂き心より感謝を申し上げます。

アーレの選手達も毎年楽しみにしている大会でしたのでとても嬉しかったです。コロナ問題はまだまだ終息しないかも知れませんが子供達の為に今後も仲良く活動させて頂けたら幸いです。来年は通常開催が出来る事を切に願っております。

ご父兄の皆様

このような状況の中でご理解の上、選手達を大会へ参加させて頂きありがとうございました。

試合中の良いプレーへの賞賛の拍手。

ピンチの場面での応援の拍手。

試合終了後の労いの拍手。

この大会でも沢山支えて頂きました。

その支えがあり8人の選手達は最後までやり切る事が出来ました。そして「優勝」を掴み取ってくれました。

優勝おめでとうございます。

疲労困憊になりながらも頑張った選手達を褒めてあげてください。

PK戦はとても惜しかったですね。

ナイスゲームでした。

これからもアーレの活動にご理解とご協力の程、宜しくお願いします。

コーチ：熊坂





